

平成28年度 北醍醐小学校 学校経営方針

学校経営 基本方針

教職員は、教育活動の目的・方法・達成度を共有し主体的に取り組む。
あらゆる教育活動を通して児童の自己有用感や自己肯定感を高める。

《基本方針を実現するために》

- 1 すべての教育活動は、児童を中心において進める。
- 2 学び合い高め合う教職員集団を目指す。
- 3 目の前の子どもの姿をとらえ、本校独自の内容や方法を構築する。
- 4 家庭・地域・他校種との連携を図り、信頼関係を深める。
- 5 取組に対する評価を行い、常に改善を加える。

北醍醐小学校 学校教育目標

やさしく かしこく たくましい 子どもを育てる

【目指す子ども像】

自分も人も大切にできる子ども
自ら学び、自ら考え、自ら行動する子ども
自己を表現し、正しく行動できる子ども

今年度のキーワード

《自ら主体となって生きる子ども》

全ての教育活動を通して、5つの力を培う。

- *人と共に社会を生きる力
- *自分を知り、自分を律する力
- *課題を見つけ、解決する力
- *夢や希望をつくりあげる力
- *社会に貢献する力

やさしく（相手の気持ちを考え、人に寄り添える子ども）豊かな心

【道徳教育】道徳的価値を生活化する。（道徳的実践力を育てる。）

◎学校教育活動の目的に道徳教育の視点を盛り込み、意識化させる。

【人権教育】自尊感情を高め、自他を大切に共に生きようとする態度を育てる。

- ・体験活動を通して、すべての人を尊重しようとする態度を育てる。
- ・「～さん」など、相手を尊重する言葉づかいを実践させる。
- ・いじめを許さず、命の尊さを意識づける取組の推進。

【生徒指導】規範意識を醸成し、自らを律する子どもを育てる。

- ・あいさつの習慣化（人権教育の視点から指導を重ねる。）
- ・掃除の徹底（相手意識を育て、縦割り掃除へと発展させる。）
- ・情報を活用する場面で、情報モラルの指導を意図的、計画的に行う。
- ・いじめ防止基本方針に基づき、未然防止・早期発見・早期解決を徹底する。
- ・高学年児童の模範的行動を引き出すように育成指導する。

【高塚活動】励まし合い、支え合い主体的に活動できる子どもを育てる。

- ・縦割り掃除（夏休み以降に取組を開始する。）
- ・集会 ・なわとび大会 ・運動会 ・登山 ・給食

かしこく（自ら行動を起こす子ども）確かな学力

【問題（課題）解決学習】

自らが問題や課題を設定し、その解決に主体的に取り組む学習展開を創る。

『めあて』があり、『まとめ』や『ふりかえり』を子どもの言葉で結ぶ授業

○興味づけ

○価値づけ

○達成感

能動的学習者の育成

生活と学びがつながる具体的な場面を設定できるように授業内容を工夫改善する。

【指導について】

- ・高学年の理科専科や4年生算数科少人数指導等，協力指導体制を工夫する。
- ・英語・道徳・算数を中心に小小連携及び小中連携を進める。

【家庭学習】卒業時の姿を共有し，主体的な学びを目指した家庭学習にする。

- ・自学自習の習慣づけを行い，自ら課題を設定し計画的に学習を進める。
- ・質と量の統一（学年×15分）
- ・授業内容と家庭学習内容を関連付けた課題の提供（読書も含める）

【読書指導】読書の価値（楽しさ）を知る子どもに育てる。

- ・主体的に学ぶ情報基地とし，様々な学習で図書室を活用する。
- ・家庭学習との関連，日常学習との関連で読書に関心をもたせる。

たくましく（自分の心と体を鍛える子ども）健やかな心身

ケガ0の日を設け，全校でケガ0の目標を意識し学校生活を送らせる。

危険を予測し，適切に行動できる力を育てる指導

食物アレルギーの事故防止は，**全教職員が意識を高くもつ**

【健康教育】豊かな心と健康な体づくりに進んで取り組める子どもを育てる。

- ・朝トレの実践
4，5，6年生は，自分の課題を考え，朝の10分間で計画的，継続的に運動し，課題克服を目指して取り組む。
全体練習（本校の課題克服に向けたジョギング・柔軟体操・なわとび等）
自主練習（個別の課題克服に向けた雲梯・幅跳び・反復横跳び等）
担任外の教職員も協力指導体制に加わる。
- ・薬物乱用防止教室等の実施

【安全教育】自分の命は，自分で守ることのできる子どもを育てる。

- ・見守り隊や警察署との連携 ・PTAとの連携
- ・非行防止教室や救急救命講習等による警察や消防との連携
- ・多彩な訓練の実施（地震・火災・防犯・土砂など）

【部活動】体力向上並びに主体的に活動しようとする子どもを育てる。

部活動ガイドラインに沿った指導の在り方を検討